

NPO法人 市民まちづくり会議・むさしのウェブサイトについて

1. ウェブサイトの概要について

CMS（コンテンツマネジメントシステム）によるサイト構築ですので、専門知識がなくても、スマートフォンやパソコンなどでウェブ画面を見ながら手軽にお知らせや画像などの投稿・更新が可能です

2. 主要コンテンツについて

■ホーム

■お知らせ（まちづくりブログ）

■ギャラリー

■活動紹介 ……・武蔵野市景観シンポジウム

- ・定例会 2015年度 第3回 定例会議事及び記録 2015年11月13日(金)
- 第2回 定例会議事及び記録 2015年9月11日(金)
- 第1回 定例会議事及び記録 2015年7月17日(金)
- 2014年度 第5回 定例会議事及び記録 2015年3月13日(金)
- 第4回 定例会資料
- 第3回 定例会議事及び記録 2014年11月14日(金)
- 第2回 定例会議事及び記録 2014年9月12日(金)
- 第1回 定例会議事及び記録

・過去に発行したニュース

■組織概要 ……・「特定非営利活動法人 市民まちづくり会議・むさしの」について

・これまでの歩み

- ・総会 総会議案
- 平成27年度 第14回総会 平成27年6月6日(土)
- 平成26年度 第13回総会 平成26年6月7日(土)
- 平成25年度 第12回総会 平成25年6月8日(土)
- 平成24年度 第11回総会 平成24年6月10日(日)
- 平成23年度 第10回総会
- 平成22年度 第9回総会 平成22年6月12日(土)

・定款

■事業紹介 ……・これまでに実施した事業シンポジウム

- 市制施行60周年記念事業
- 市民のためのまちづくり検討プログラム2008
- 市民のためのまちづくり検討プログラム2008実施報告
- まちづくり条例意見交換『市民ミーティング』
- 5th むさしのまちづくりシンポジウム
- 4th むさしのまちづくりシンポジウム
- 3th むさしのまちづくりシンポジウム

■お問い合わせ

3. 記事のアップロードについて

管理画面にログイン後、画面を見ながらご自身で操作可能です。予めアカウント登録が必要です。アカウント取得後、記事投稿マニュアルを配布いたしますのでご覧ください。

4. 画像や動画などについて

サーバーによる制限で最大ファイル容量が20MBとなっております。

スマートフォンなどで撮影した高画質の写真などは自動的にリサイズする機能を付加しています。

動画撮影などはYouTubeチャンネルを利用した公開などで制限を回避できます。

5. メンテナンスについて

セキュリティ対策やバージョンアップなどの定期メンテナンスに加え、記事投稿についてのサポートも行います。レンタルサーバーやメールリストについても同様にメンテナンスいたします。

また、パソコンやスマートフォンを利用した技術的なご相談にも応じます。

6. 今後の更新について

お知らせや固定ページ等の更新は、みなさまで手軽に更新が行えるように整備いたしておりますが、システムの定期的なチェックなどは適宜対応いたします。

コンテンツの更新や追加等につきましてはご相談に応じますのでお申し付けください。

<課題>

- ・資料等のカテゴリが適正かどうか
- ・動画や写真などの著作権や所有権等の確認
- ・記事投稿における承認制度を付加するか否か

〜 ときにPの更新
〜 YouTubeに反映

以上

■景観ウォッチング@吉祥寺に関する提案メモ

by 南

◎手法：2回実施したい

①魅力ある商業地域の景観

②風格ある住宅地の景観

①魅力ある商業地域の景観

4/2(土) 9:30~12:00

<主な調査テーマ>

- ・看板類の乱立と適度な規制
- ・電線、電柱の問題と改善方向
- ・ランドマークとなる駅舎と駅前広場
- ・街並みの統一と風格ある商業・業務地域
- ・境界性を感じる居心地のよい商業空間
- ・心地良さを演出するまちの緑と草花
- ・見つ見られつを演出する心地よいオープンカフェと都市広場
- ・その他

②風格ある住宅地の景観

<主な調査テーマ>

- ・住宅の緑と環境（宅地外構に関するさまざまな緑の演出方法）
- ・住宅の外構と花の演出（5月ころの実施が望ましい）
- ・多様な門扉のデザイン
- ・車庫の景観デザイン
- ・駐車場の景観処理
- ・小規模宅地の景観対策
- ・電柱の景観処理
- ・その他

日赤奉仕団の活動について

分団長 竹山悠紀子

1、武蔵野市の日赤奉仕団は平成26年に結成65周年を迎えました。日赤事務局は市役所内にあり、正式名称は武蔵野市役所地域支援課で市の職員が2名従事しています。武蔵野市の日赤地区長は市長です。

2、市民ボランティアで成り立っている日赤奉仕団は市内に13分団あり、現在663名が活動しています。

*日赤の奉仕内容は：赤十字運動月間募金、赤い羽根共同募金、市内日赤病院の案内、タキオン（献血の呼びかけ）、サンメール（特養老人ホーム）の掃除、「のぞみの家」「日赤こどもの家」など事情ある家庭の子どもを預かる施設での布団作りや繕いもの、その他が挙げられます。

*日赤奉仕団は「敬老の日」の友愛訪問や市民文化会館「敬老福祉の集い」での会場準備、送迎バス、車いすの介助や、はらっぱ公園での「防災フェスタ」などでお手伝いをしています。

・市内で75歳以上の高齢者は27年度16,089名で、このうち第1分団地域（光和会、新生会、本田北クラブ）の対象者は679名、昨年より31名増えました。

*また「盆踊り」「東部フェスティバル」など地域のイベントに参加。炊き出し及び救護を行っています。

3◎平成26年度、私たち東町の日赤奉仕団第1分団員が皆様からお預かりしたご寄附額は

5月の「赤十字運動月間」が 361,500円

10月の「赤い羽根共同募金」が 333,370円 です。

（他に民生委員が担当の「歳末助け合い運動」があります）

*この貴重なお金は市役所を通して日本赤十字本社と東京都中央共同募金会へ送られました。

4、H26年度の武蔵野市への配分金は15,235,054円で配付先は以下のとおりです。

赤十字子どもの家、ミュー就労支援センターMEW、武蔵野緑会西久保保育園、武蔵野赤十字保育園、こけら会、井の頭はうす、モンキーマジック：武蔵野市社会福祉協議会吉祥寺南町、同西久保、同境南、同千川、同関前、同桜野、同境、同吉祥寺東町（若葉グループ）、同4小地区、同大野田、同御殿山、同吉祥寺西、同中央、武蔵野地区協力会、武蔵野市民社会福祉協議会（募金配分）、武蔵野市民社会福祉協議会（地域福祉）*計23件

★赤十字： アンリ・デユナンが *ナイチンゲールの精神にならい発足させた。

その活動は社会福祉、医療事業への奉仕、看護婦育成等幅広く献血センターの経営にも携わっている。*クリミア戦争（1853）で敵味方の区別なく救護した。

★日赤： 西南の役（1873）後、佐野常民が博愛社を設立、赤十字条約に加入し1887年、日本赤十字社と改名。現在の社長は近衛忠輝氏である。

◎日赤が行う社会福祉事業における活動費用は、法人会員が納める社資の他、国からの委託金、補助金、及び、その他の寄付金によって賄われている。

ふれあい講座

原発事故から5年

～ふるさとへ帰れるのでしょうか



お話し：小島力さん

小島ヤス子さん

福島県葛尾村から緑町の
都営住宅に避難してきた方

1月23日(土)

14:00～16:00

吉祥寺南町コミュニティセンター
地下ホール

10月に葛尾村を訪ねた方のお話や、
現在の葛尾村の写真もご紹介します。

写真上：

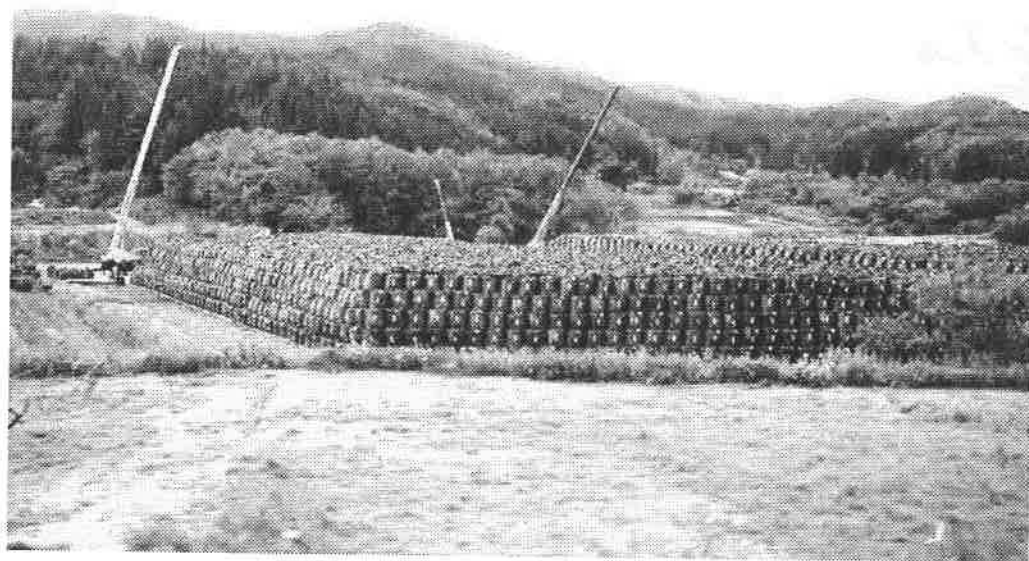
葛尾村の自宅前に立つ
小島さん夫妻。帰れる
日はくるのだろうか。

(2014年3月)

写真右：

除染した土などを詰めた
フレコンバッグの山。手
前は除染して耕作のでき
なくなった田んぼ。

(2015年10月)



雑巾の会：3.11のすぐ後から、月に一度集まって、雑巾をぬいながら東京にいる私たちにできることを捜してきました。ボランティアステーションのご縁で石巻のサポートをしたり、二本松の施設のラスクを売ったり、いわきの山さと農園の野菜の販売も続けています。

主催：吉祥寺南町コミュニティ協議会 43-6372

企画：雑巾の会 49-3360 (磯部)